平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場会社名　株式会社 永谷園　　上場取引所　東
コード番号　2899　URL　http://www.nagatanien.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 町田　東
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長　(氏名) 松村　雅彦　TEL 03-3432-2511

四半期報告書提出予定日　平成23年8月11日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	14,234	△8.9	1,105	108.9	1,166	103.8	643	136.4
23年3月期第1四半期	15,622	2.0	529	63.3	572	39.2	272	18.8

(注)包括利益　24年3月期第1四半期　596百万円　(―%)　23年3月期第1四半期　△207百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	16.89	―
23年3月期第1四半期	7.24	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	52,082	23,233	44.5
23年3月期	55,023	22,933	41.6

(参考) 自己資本　24年3月期第1四半期　23,183百万円　23年3月期　22,882百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	7.75	―	7.75	15.50
24年3月期	―				
24年3月期(予想)		7.75	―	7.75	15.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	31,200	△1.8	1,850	55.2	1,900	61.3	1,150	77.2	30.17
通期	67,000	0.1	3,000	△5.1	2,900	△5.0	1,580	50.6	41.45

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、(添付資料)2ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	38,277,406 株	23年3月期	38,277,406 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	161,726 株	23年3月期	160,799 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	38,115,367 株	23年3月期1Q	37,608,888 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
なお、業績予想に関する事項は、(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 2
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 2
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 2
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 2
３．四半期連結財務諸表 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、急激な円高の進行や原油価格の高止まりによるコスト高など、企業収益に悪影響を及ぼすことが懸念されるなか、東日本大震災後のサプライチェーンの復旧が遅れ、不安定な経済活動が続き、景気の先行きは依然として不透明な状況が続きました。当社グループを取り巻く市場環境も、東日本大震災の影響により、消費者の将来に対する不安感から、ますます節約志向が強まるなど、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような経営環境の下、当社グループにおきましては「商品の安定供給」を最優先事項と考え、当社グループの総力を上げて、生産設備の復旧や原材料の確保に取り組んでまいりました。期初は、生産設備や原材料の仕入先が被害を受けたことにより、商品の供給力が一時的に低下しましたが、西日本地区の工場で増産対応するとともに、代替原料の調達や生産品種を主力商品に絞り込むなど、お客様に対し最大限に商品を供給できる体制を推進してまいりました。生産設備については、５月中旬にほぼ復旧し、供給体制については６月に通常の状態に戻すことができました。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は142億34百万円（前年同期比8.9%減）となりました。一方、利益面につきましては、商品供給の問題から期初の販売促進企画が組めなかったことによる販売促進費の減少に加え、前期より推進している生産活動におけるコスト低減策の寄与や、生産品種が主力商品中心となったことによる製造原価の低減など、営業・生産活動が例年と大きく異なる状況となったため、営業利益11億５百万円（同108.9%増）、経常利益11億66百万円（同103.8%増）、四半期純利益６億43百万円（同136.4%増）となりました。

なお、当社グループは食料品事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より29億41百万円減少し、520億82百万円となりました。これは主に、商品及び製品、原材料及び貯蔵品が増加したものの、現金及び預金、受取手形及び売掛金が減少したことによるものです。また負債は、前連結会計年度末より32億42百万円減少し、288億48百万円となりました。これは主に、短期借入金が減少したことによるものです。また、純資産は主に、利益剰余金の増加により232億33百万円となりました。この結果、純資産から少数株主持分を控除した自己資本は231億83百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.9ポイント上昇の44.5%となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

第２四半期以降の当社グループを取り巻く経営環境は、円高の長期化や原材料価格の高騰に加え、雇用環境の悪化によるさらなる個人消費の冷え込みなど、企業業績に影響を及ぼす懸念材料が多く、一段と厳しさを増すものと思われます。このような下で当社グループは、店頭における販売促進企画の提案やＣＭと連動したプロモーション活動を積極的に展開し、売上高の獲得に邁進していくとともに、より強固な生産体制を構築し、お客様に信頼される安全・安心な商品の供給に努めてまいります。

なお、当社グループの当第２四半期連結累計期間の予想につきましては、当第１四半期連結累計期間の業績状況および今後さらに厳しさを増すことが想定される市場状況を考慮し、平成23年５月13日に発表しました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（平成23年８月５日）発表しております「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,185	6,857
受取手形及び売掛金	11,163	7,205
商品及び製品	1,919	3,467
仕掛品	463	544
原材料及び貯蔵品	3,331	3,874
その他	965	1,078
貸倒引当金	△11	△4
流動資産合計	26,019	23,022
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,221	14,297
減価償却累計額	△8,790	△8,899
建物及び構築物（純額）	5,430	5,398
機械装置及び運搬具	11,784	11,842
減価償却累計額	△8,952	△9,049
機械装置及び運搬具（純額）	2,832	2,792
土地	11,127	11,127
リース資産	1,375	1,530
減価償却累計額	△478	△529
リース資産（純額）	896	1,001
建設仮勘定	26	43
その他	1,794	1,798
減価償却累計額	△1,477	△1,492
その他（純額）	317	305
有形固定資産合計	20,631	20,669
無形固定資産		
のれん	77	69
その他	148	138
無形固定資産合計	225	207
投資その他の資産		
投資有価証券	5,843	5,852
その他	2,405	2,426
貸倒引当金	△101	△96
投資その他の資産合計	8,147	8,182
固定資産合計	29,004	29,059
資産合計	55,023	52,082

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,549	7,040
短期借入金	5,208	2,477
未払法人税等	574	471
賞与引当金	485	281
災害損失引当金	338	249
その他	5,687	5,178
流動負債合計	18,845	15,700
固定負債		
社債	7,000	7,000
長期借入金	3,217	3,028
退職給付引当金	413	451
役員退職慰労引当金	50	―
資産除去債務	50	50
その他	2,513	2,617
固定負債合計	13,245	13,148
負債合計	32,090	28,848
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,502	3,502
資本剰余金	6,509	6,509
利益剰余金	16,918	17,267
自己株式	△132	△133
株主資本合計	26,798	27,146
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△542	△588
土地再評価差額金	△3,373	△3,373
その他の包括利益累計額合計	△3,916	△3,962
少数株主持分	50	49
純資産合計	22,933	23,233
負債純資産合計	55,023	52,082

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
売上高	15,622	14,234
売上原価	8,731	7,597
売上総利益	6,890	6,636
販売費及び一般管理費		
販売促進費	2,803	2,233
賞与引当金繰入額	102	91
その他	3,455	3,206
販売費及び一般管理費合計	6,360	5,531
営業利益	529	1,105
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	63	66
不動産賃貸料	18	28
その他	28	36
営業外収益合計	113	132
営業外費用		
支払利息	38	37
その他	31	34
営業外費用合計	70	71
経常利益	572	1,166
特別損失		
減損損失	8	－
災害による損失	－	34
投資有価証券評価損	－	8
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	69	－
社葬費用	－	31
特別損失合計	77	73
税金等調整前四半期純利益	494	1,092
法人税等	229	449
少数株主損益調整前四半期純利益	264	643
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△7	△0
四半期純利益	272	643

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	264	643
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△472	△46
その他の包括利益合計	△472	△46
四半期包括利益	△207	596
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△200	597
少数株主に係る四半期包括利益	△7	△1

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	494	1,092
減価償却費	391	373
減損損失	8	－
のれん償却額	7	7
貸倒引当金の増減額（△は減少）	2	△12
賞与引当金の増減額（△は減少）	△199	△204
退職給付引当金の増減額（△は減少）	64	37
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	0	△50
災害損失引当金の増減額（△は減少）	－	△89
受取利息及び受取配当金	△65	△67
支払利息	38	37
投資有価証券売却損益（△は益）	△0	－
投資有価証券評価損益（△は益）	0	8
その他の営業外損益（△は益）	△12	1
その他の償却額	5	4
有形固定資産除売却損益（△は益）	1	2
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	69	－
売上債権の増減額（△は増加）	1,241	3,964
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,060	△2,171
仕入債務の増減額（△は減少）	60	490
未払金及び未払費用の増減額（△は減少）	△483	△501
未払消費税等の増減額（△は減少）	△80	△120
その他の資産・負債の増減額	51	27
小計	534	2,831
利息及び配当金の受取額	66	67
利息の支払額	△20	△33
法人税等の支払額	△584	△551
法人税等の還付額	0	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2	2,314

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△8	△6
有形及び無形固定資産の取得による支出	△524	△228
有形固定資産の売却による収入	0	3
有価証券の償還による収入	5	―
関係会社貸付けによる支出	―	△92
投資有価証券の取得による支出	△3	△2
投資有価証券の売却による収入	14	0
子会社株式の取得による支出	―	△92
差入保証金の差入による支出	△1	△1
差入保証金の回収による収入	0	19
その他	△1	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△517	△400
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	1,000	△2,700
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△62	△80
長期借入金の返済による支出	△156	△219
自己株式の純増減額（△は増加）	△1	△0
配当金の支払額	△242	△248
財務活動によるキャッシュ・フロー	536	△3,248
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	16	△1,334
現金及び現金同等物の期首残高	6,263	8,183
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,279	6,849

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。